

一般社団法人日本認知症ケア学会  
第1回新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止等に関する  
アンケート結果（速報）

本調査は、標記 COVID-19（以下、感染症）拡大により発生した問題・課題および取り組み（対応）状況等を把握し、日々感染拡大防止に努められている関係者の方々への情報提供、本学会の対応を検討するための資料作りを目的とし、標記アンケートを実施いたしました。その結果を次のとおり報告させていただきます。

**【調査結果の概要】**

60 機関に対して調査を行い、17 機関より回答をいただきました。種別は入所系施設や通所系施設、病院、教育機関などであり、半数以上が入所系施設でした。

感染予防対策の問題点と課題については、面会制限によるストレスや行動制限の問題、利用者のマスク着用拒否、受け入れ病院の確保、出勤制限によるスタッフ不足の問題など多岐にわたっていました。

感染予防の取り組みとしては、施設等の消毒の徹底、マスクやフェイスシールド着用、換気の徹底、ゾーニングやテーブル配置の工夫など環境面での工夫の他、外部の人の出入り制限、電話による面会や窓越し面会、オンライン面会の実施、職員の健康管理と行動制限、会議の簡素化やオンライン会議など様々な工夫が行われていました。

またマスクの着用義務は4分の3以上が流行前～3月上旬までには行っており、アルコール消毒薬の設置は8割以上が流行前から行われていました。スタッフの体温測定は流行前から実施は7%でしたが、4分の3は3月までには実施するようになっていました。面会制限は半数以上が2月下旬までには実施していますが、ゾーン分けを実施しているのは約半数という結果でした。

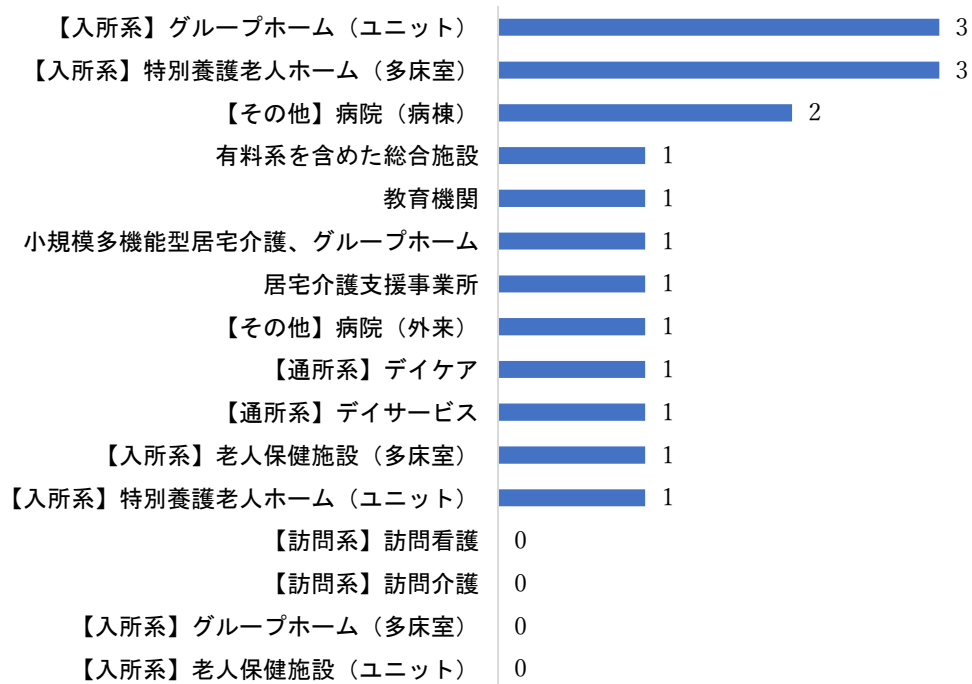
**【調査結果】**

- I. 実施期間：2020年6月4日 20:00～6月12日 16:00
- II. 対象者：60機関（認知症ケア専門士会（27団体）・学会認定機関（33機関））
- III. 調査方法：WEB調査（グーグルフォーム利用）／E-mailによるアンケート協力依頼
- IV. 回答（率）：17機関（28.3%）

【アンケート結果】

A. 回答内容の利用に関する承諾 17 機関すべて承諾

B. 勤務先種別を次から1つ選択してください



C. 感染症予防・対策を講じるうえで発生した問題点・課題についてお教えてください（自由記述）

- ・マスク・体温計・消毒液等の購入
- ・利用者（患者）のマスク着用の拒否
- ・面会制限（禁止）による利用者（患者）および家族の心理的ストレス
- ・面会制限（禁止）・解除の判断
- ・感染拡大予防のための利用者（患者）への行動制限
- ・受け入れ（病院等）の確保
- ・出勤制限によるスタッフ不足
- ・隔離するスペースの確保（ゾーニング）
- ・スタッフや家族の健康状態
- ・他職種間での認識の違い
- ・家族への支援

**D. 感染症予防・対策の取り組みをお教えてください（自由記述）**

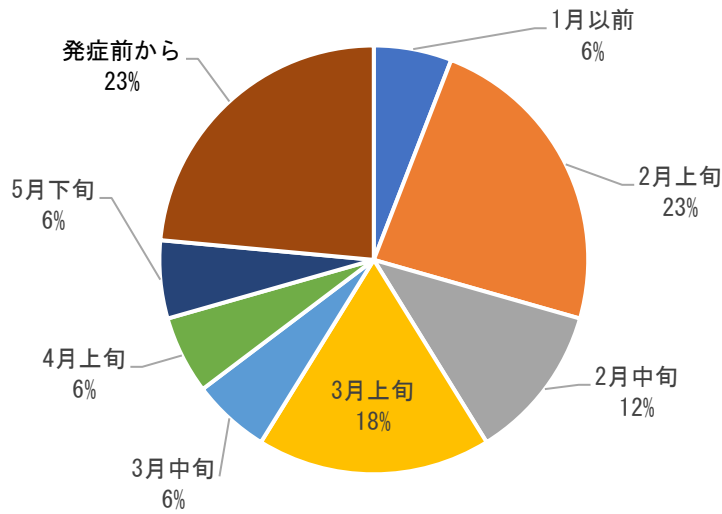
- ・厚労省の方針の徹底
- ・①ケアマネ訪問時携帯セットを準備：マスク（対象者の分も持参する）、フェイスシールド、消毒用エタノール、使い捨てグローブ、使い捨てレインコート、シャワーキャップ、大きなごみ袋、エタノールシートをバッグにまとめていつも携行、②家庭や施設・病院への訪問があるので、訪問ごとに手洗い・アルコール消毒とマスク交換（マスクは毎回交換し、洗浄・乾燥して使用）③各家庭に、不要不急の外出自粛をわかりやすく記載したチラシを配布。出口にはっていただくことで、記憶が困難な方々にも、自粛をうながしている、④スタッフにたいしての日常行動の指針を提示し、感染拡大予防をおこなっている。（家族にも伝達）
- ・職員の健康チェック、施設内の換気、消毒、面会制限、部外者の立ち入り制限、外来患者および同伴者の健康チェック、外来電話再診の推進、委員会・会議・研修、イベント等の中止
- ・新規入院患者の問診票によるチェック
- ・新型コロナウイルス感染対策マニュアルの作成、周知
- ・面会制限、1ケア1消毒の徹底、設備等の消毒、職員への行動制限
- ・毎日検温及びコロナの症状など一覧にした健康チェック表による管理。1つでも症状のある人は、自宅待機。13都道府県に行き来が本人・身内・関係者・接触者等すべての関係者が該当した場合、2週間自宅待機。消毒・湿度・換気等環境整備を毎日徹底。外部受付は、玄関入り口で対応。窓口対応が必要な場合、ガードフィルムを設置し、飛沫防止を行っている。外部からの訪問は家族や業者など、自粛している。サービス提供（特に食事）は会場を広げ、3密を防止している。会議の簡素化。オンラインによる会議。毎日、各事業所の健康状況の報告を行っている。都度変化する情報を共有し、それに合わせた対策をタイムリーに話し合い、実行。
- ・毎日の健康チェック、外出自粛、手洗い・うがい
- ・面会、外出・外泊の禁止
- ・入所・退所の制限
- ・出勤前検温など健康管理
- ・不要不急の外出自粛
- ・高感染リスク地域への移動制限
- ・事業継続計画策定
- ・1時間毎の換気。マスクの徹底。手洗い・消毒の徹底。
- ・発熱、風邪症状などを送迎時自宅で、送迎スタッフが確認し、37.3度以上または、風邪症状がある人は、利用できない。送迎車にのせない。
- ・家族や近親者などでコロナ要請が出た場合は速やかに連絡するよう、書面と口頭で何度か説明した。

- ・職員の予防策を徹底（①職場や外出先で3蜜を避ける，②ウイルスを持ち込まない，拡げない，持ち出さない，③手洗い，マスクの着用，健康チェックを行い，少しでも異常があれば出勤しない・させない等の徹底）
- ・職員教育として，3蜜を避けて研修会の実施①看護師による研修会，感染管理認定看護師による研修，医師による研修，職場巡視を行い，手洗い等の実施
- ・入所者の食事のテーブルの配置など環境改善
- ・外部者の面会制限，看取り等の場合も健康チェックを行う
- ・入所者の生活上の対策（集団のレクリエーションや合唱，行事の中止，外出制限
- ・家族との電話・リモート面会を4月より実施
- ・ご本人の写真と近況を家族に郵送
- ・ユニットの窓越しに家族と会う工夫
- ・3つの密（密閉空間，密集場所，密接場面）を避けることの徹底
- ・来院時に，すべての方に手のアルコール消毒，体温測定，血中の酸素飽和度測定，マスクしてもらう。
- ・院内消毒の徹底
- ・来院時電車やバスで来る人は，本人からコロナが怖いので受診できないのでどうしたらよいか不安等連絡あり，非常時の対応として，電話による診療，服薬指導を実施し，必要に応じて往診している。
- ・処方箋については，当院から患者が希望する薬局にFAX等により処方箋を送付している。
- ・手洗い・手指消毒
- ・オンライン面会実施
- ・職員の出勤時検温
- ・入居者の検温
- ・職員の外出自粛・行動記録
- ・訪問受付簿の作成
- ・感染対策マニュアル・発生時のフローチャートの整備
- ・マニュアル・フロチャートに基づいたシミュレーション
- ・入居者行事の自粛および縮小化
- ・レクリエーション時のソーシャルディスタンス
- ・新型コロナウイルス感染対策マニュアルの整備
- ・感染対策用品の確保及び定期的な在庫確認
- ・面会訪問者制限
- ・職員の外出自粛
- ・職員へ外出時の消毒剤を携帯
- ・ユニットの行き来の制限
- ・食事席のソーシャルディスタンス（対面に座らず間隔を空けて食事）

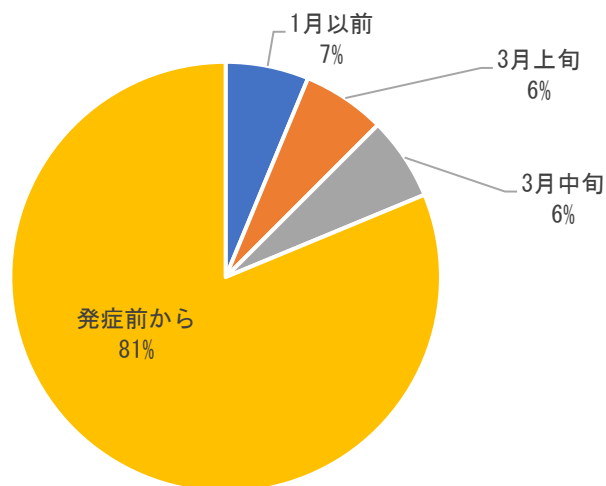
- ・ 日常的な健康管理
- ・ 感染発生時の対応可能職員の確保
- ・ 立ち入り業者に対する検温実施

E. 以下の対応をいつ頃から実施したかについて教えてください

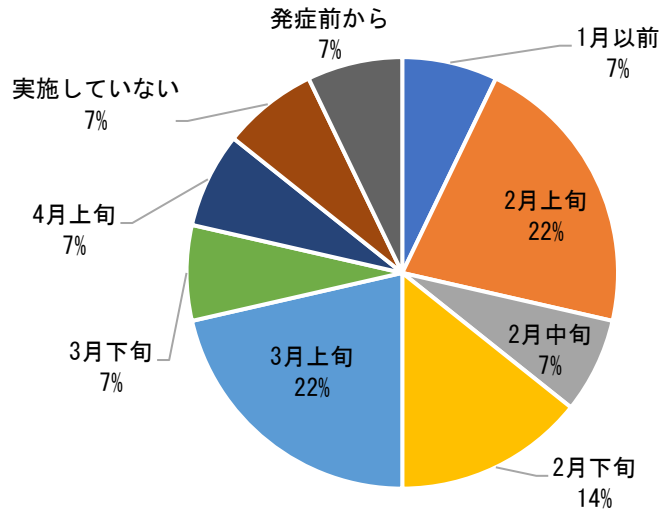
E-1. マスク着用義務



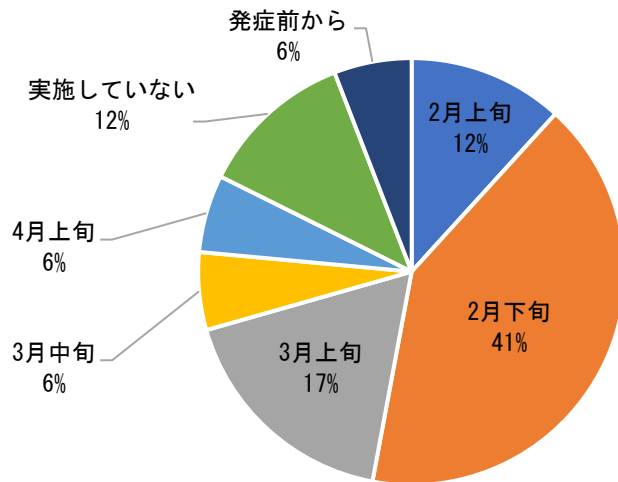
E-2. アルコールの設置



E-3. スタッフの体温測定（検温）



E-4. 面会制限



E-5. 新型コロナ感染者・非感染者のゾーン分け

